4-5 と畜検査

4-5-1 月別と畜検査頭数

（単位:頭）

年度	牛				馬	豚	こうし	めん山羊	合計
	和牛[1]	乳牛[2]	その他[3]	計					
令和2年4月	189	196	113	498	-	2,954	-	-	3,452
5月	134	167	116	417	-	3,017	1	-	3,435
6月	166	183	103	452	-	2,734	2	-	3,188
7月	287	206	140	633	-	2,973	1	-	3,607
8月	141	193	102	436	-	2,539	-	-	2,975
9月	149	200	108	457	-	2,732	-	-	3,189
10月	203	246	128	577	-	3,120	-	-	3,697
11月	215	260	132	607	-	2,934	-	-	3,541
12月	249	205	126	580	-	3,443	-	-	4,023
令和3年1月	121	196	102	419	-	2,963	-	-	3,382
2月	114	188	96	398	-	2,684	-	4	3,086
3月	155	214	106	475	-	3,018	1	-	3,494
計	2,123	2,454	1,372	5,949	-	35,111	5	4	41,069

注: 1)和　牛:黒毛、褐毛、日本短角等の肉用牛
2)乳　牛:主としてホルスタイン系の乳用牛
3)その他:交雑種及び輸入牛等

4-5-2 過去5年間のと畜検査頭数の推移

（単位:頭）

年度	牛	豚	その他＊	合計
平成28	6,073	48,451	17	54,541
平成29	5,654	46,579	22	52,255
平成30	5,611	44,916	19	50,546
令和元	5,595	40,154	22	45,771
令和2	5,949	35,111	9	41,069

注: ＊その他:馬､こうし及びめん山羊

4-5-3 獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄したものの原因

令和2年度 （単位:頭）

と畜場内と畜検査頭数		牛			馬			豚			こうし			めん山羊		
		5,949			－			35,111			5			4		
区分		禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄
処分実頭数		5	104	4,796	－	－	－	－	36	23,145	－	－	5	－	－	2
細菌病	炭疽	－	－		－	－		－	－		－	－		－	－	
	豚丹毒							－	19							
	サルモネラ病	－	－		－	－		－	－		－	－		－	－	
	結核病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	ブルセラ病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	破傷風	－	－		－	－		－	－		－	－		－	－	
	放線菌病		－	6		－	－		－	－		－	－		－	－
	その他	－	－	－	－	－	－	－	－	19	－	－	－	－	－	－
ウィルス	豚コレラ							－	－							
	その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
原虫	トキソプラズマ病	－	－		－	－		－	－		－	－		－	－	
	その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
寄生虫	のう虫病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	ジストマ病		－	4		－	－		－	－		－	－		－	－
	その他	－	－	2	－	－	－	－	－	448	－	－	－	－	－	－
その他の疾病	膿毒症	－	6		－	－		－	6		－	－		－	－	
	敗血症	－	11		－	－		－	5		－	－		－	－	
	尿毒症	－	－		－	－		－	1		－	－		－	－	
	黄疸	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	水腫	－	66	536	－	－	－	－	2	80	－	－	2	－	－	－
	腫瘍	－	3	10	－	－	－	－	3	4	－	－	－	－	－	－
	中毒諸症	－	－		－	－		－	－		－	－		－	－	
	炎症・汚染		－	4,125		－	－		－	23,016		－	5		－	2
	変性・萎縮		－	2,454		－	－		－	124		－	1		－	
	その他	5	18	196	－	－	－	－	－	343	－	－	1	－	－	－
合計		5	104	7,333	－	－	－	－	36	24,034	－	－	9	－	－	2

4-5-4 牛海綿状脳症(BSE)スクリーニング検査状況

BSEスクリーニング検査は、平成13年10月18日より開始され、平成25年6月30日まで全頭を対象とした検査を行ってきたが、厚生労働省関係牛海綿状脳症対策特別措置法施行規則の一部改正(平成25年厚生労働省令第77号)により、BSE検査の対象月齢が見直された。

同施行規則一部改正に伴い、平成25年7月1日より48月齢を超える牛のみを対象としたBSEスクリーニング検査を実施していたが、平成29年4月1日より健康牛を対象とした当該検査は廃止された。

(単位:頭)

年　　度	と畜頭数	検査頭数	検査率
令和2年4月	498	-	0.0%
5月	417	1	0.2%
6月	452	-	0.0%
7月	633	-	0.0%
8月	436	1	0.2%
9月	457	-	0.0%
10月	577	-	0.0%
11月	607	-	0.0%
12月	580	1	0.2%
令和3年1月	419	-	0.0%
2月	398	1	0.3%
3月	475	1	0.2%
計	5,949	5	0.1%